



●介護体験を通して、相手の立場になって考える大切さを知りました

「介護の日作文コンクール」入賞

「介護の日作文コンクール」において、東海南中学校の生徒が茨城県知事賞をはじめ、さまざまな賞を受賞しました。これは、「介護の日」(11月11日)の趣旨を踏まえ、県と茨城県老人福祉施設協議会が、介護を必要とする人や介護の仕事をしている人だけでなく、県民誰もが介護について考えるきっかけとするために実施しているものです。同校では6年前から、2年生で実施する職場体験の前段として、働くことの大変さや感謝される喜びを知ることを目的に、1年生での介護体験を取り入れています。生徒たちの作文は、「介護士の方に、笑顔で接することがお年寄りの安心につながると教えていただき、そのことを心掛けました」「親身になって話を聞くことで、喜んでくれたことが心に残っています」など、実際の体験を基に書かれていることから、これまでの多くの表彰につながっているようです。私たちも、温かい気持ちを持ってお年寄りの方とふれあっていきたいですね。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
茨城県知事賞	東海南中2年 根本航太		東海南中2年 本間和璃
茨城県老人福祉施設協議会長賞		東海南中2年 長野航太	東海南中2年 白澤春乃
茨城県社会福祉協議会長賞	東海南中1年 梶原楓真		
茨城県理学療法士会長賞	東海南中1年 勝又みはる		東海南中1年 住谷ゆりな
茨城県介護福祉士会長賞		東海南中1年 高田麻舞	

※表中の学年は受賞当時、写真は全て左からの名前となります。



【平成26年度】勝又さん、梶原さん、根本さん



【平成27年度】高田さん、長野さん



【平成28年度】白澤さん、本間さん、住谷さん

●民生委員・児童委員として18年、河野さんに表彰状

「全国永年勤続民生委員・児童委員表彰」

10月20日、香川県で開催された第85回「全国民生委員児童委員大会」において、河野進さん(白方中央)が全国永年勤続民生委員・児童委員表彰を受賞し、11月30日、村長室で表彰状の伝達式が行われました。これは現在、民生委員・児童委員として活動し、在任期間が17年以上の方に贈られるもの。河野さんは、平成10年に民生委員・児童委員に就任し、平成22年からは6年間、東海村民生委員児童委員協議会の会長として、他市町との連携を図りながら、地域のさまざまな課題解決に向けて尽力してきました。11月で活動を終えるという河野さんは「振り返ると、



【写真左から】河野さん、山田村長

あっという間の18年。会長を務めた6年間は、大変なこともありましたが、その分やりがいもありました」と話していました。長年にわたり、地域のためにご尽力いただき、ありがとうございました。

●生け花を通じて文化芸術の振興に貢献、高野さんに表彰状

「茨城県文化芸術功労者表彰」

11月19日、茨城県立近代美術館で「茨城県文化芸術功労者表彰」の表彰式が行われ、受賞した高野敏子さん(舟石川)が、11月28日、村長を表敬訪問しました。高野さんは東海村文化協会華道連盟の理事長を歴任し、華道愛好家の底辺拡大・普及・発展に尽力しており、その活動が地域文化の向上に貢献していることから、今回の受賞に至りました。村内在住の小学生とその親を対象に「スカシユリいけばな教室」を行い、年間で約30人以上の生徒に生け花を教えているという高野さん。「とにかく、子どもたちに生け花を教える



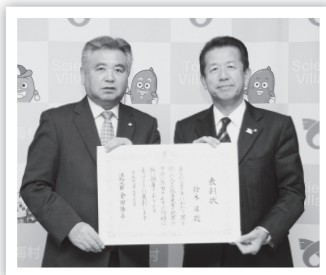
【写真左から】高野さん、山田村長

ることが楽しい。自分の感性をそのまま表現できる子どもたちの作品から、私自身勉強させられることもあります」と話していました。今後もますますのご活躍を期待しています。

ず〜むあっぷ「まちの風景」

●保護司として尽力してきた鈴木さんに表彰状 「法務大臣表彰」

11月9日、茨城県立県民文化センターで行われた第55回「茨城県更生保護大会」において、東海保護司の会の鈴木昇さん(照沼)が法務大臣表彰を受賞し、11月24日、村長を表敬訪問しました。鈴木さんは、平成9年から現在まで約20年にわたり、犯罪や非行をした方の立ち直りを支えるために助言や指導を行ってきたこと、また、その活動が他の地域の模範となっていることなどが評価され、今回の受賞に至りました。保護司としての活動は、対象者の保護観察だけでなく、自主研修や社会を明るくする運動をはじめとするキャンペーン活動など多岐にわたります。鈴木さん



【写真左から】鈴木さん、山田村長

さんは「対象者は、子どもから自分よりも年配の方まで幅広く、接し方などで悩むこともありました。今回の受賞を励みにあと10年、地域のために頑張りたい」と今後の意気込みを話してくれました。

●人権擁護委員は、まちのみんなの相談役です！ 「法務大臣表彰」

10月17日、法務省において、法務大臣表彰を受けた人権擁護委員の池田静さん(豊白)が、11月28日、村長を表敬訪問しました。池田さんは、平成17年から現在まで東海村の人権擁護委員として、人権相談や人権啓発活動等に尽力してきたことが評価され、今回の受賞に至りました。また、人権擁護委員の活動として村内の各小学校で「人権教室」を行い、子どもたちに向けた、いじめ防止啓発活動にも尽力しています。池田さんはこれまでの活動を振り返り、「電話相談を受け始めたころは、内容を聞くだけで精一杯で、相談者の力になれているのかな…と思うことがありました。続けていくうちに、今では“聞くことが相談者にとっての大きな一歩”であると気付きました」と話していました。



【写真左から】市毛久美子さん(人権擁護委員)、池田さん、山田村長、中川輝夫さん(人権擁護委員)

●青パパイヤで健康寿命を延ばそう！ 内宿1区自治会で「青パパイヤ料理教室」

11月19日、石神コミュニティセンターで、青パパイヤを使った料理教室が行われました。これは、健康食品である青パパイヤを使った料理を学び、健康寿命を延ばそうと行われたもの。青パパイヤは、消化酵素やポリフェノールを豊富に含むことから、健康や美容に大変良い野菜として、近年注目を集めています。同自治会では、高齢化社会が進む中、健康寿命の延伸が重要であるとして、3年前から青パパイヤの栽培を始めました。主催者の一人は「青パパイヤは、サラダや炒め物、煮物、スープ、漬物など、どんな料理にもよく合います。体に良いものを食べて、健康を維持することが大切です。家庭菜園でも簡単に育てられるので、皆さんもぜひチャレンジしてみてください!」と話してくれました。



健康を維持することが大切です。家庭菜園でも簡単に育てられるので、皆さんもぜひチャレンジしてみてください!」と話してくれました。

●地域のため、子どもたちのために防犯活動！ 「茨城県防犯協会表彰」

10月10日、茨城県立県民文化センターで開催された第38回「地域安全茨城県民大会」において、佐藤映史さん(村松北)が優良防犯連絡員として、また、黒羽根弘一さん(村松)が地域安全功労者として表彰され、11月30日、村長室で表彰状の伝達式が行われました。地域の安全のために、防犯連絡員として防犯パトロール等を行っているお二人。佐藤さんは自営業の立場を生かし、来店者に対してニセ電話詐欺防止を呼び掛けるなど地道な活動が、一方、黒羽根さんは、11年前に優良防犯連絡員として表彰されてからも、各防犯キャンペーンへの積極的な参加や熱心な取り組みが他の防犯ボランティアの模範となっていることから、今回の受賞に至りました。



【写真左から】山田村長、黒羽根さん、佐藤さん、遠藤恵一ひたちなか警察署長、森澤潤一郎さん(舟石川3区自治会長)